

## 市役所〔大卒程度〕試験について

※正式には、各自治体より発表される情報をご確認ください。

地方自治体は規模によって、都道府県および政令指定都市などと、一般の市町村に分けられます。

市役所試験は、自治体によっては、毎年必ずしも実施されるわけではありませんし、都道府県や政令指定都市のような全国統一の実施日はありません。また、大卒程度試験、高卒程度試験という区別をしない場合もあります。試験の内容も、専門試験を行い都道府県〔大卒〕に近い試験を実施する市と、専門試験はなく、教養試験だけ、あるいは教養試験と適性試験を行う高卒程度試験に近い試験を行う市、教養試験で記述式の試験を行う市などがあります。

ここでは「都道府県・政令指定都市\*・特別区（東京23区）以外の市役所〔大卒程度〕事務系試験」について説明します。

◇技術系の職種については、→技術系〔大卒〕試験

◇都道府県・政令指定都市\*・特別区（東京23区）については、→地方公務員〔大卒〕試験

\*政令指定都市 札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市

### ◆受験資格 ※2024年度

各自治体によって異なりますが、受験年度の4月1日現在でほぼ21～29歳程度。

市役所〔大卒程度〕試験は、年齢要件の他、学歴要件、住所要件（〇〇市に居住または居住可能な者）がある場合があります。

### ◆試験内容【事務系】

市役所〔大卒程度〕試験は、試験内容、試験日程などが市役所によってマチマチですし、情報が少ないため、地方公務員〔大卒程度〕試験ほど詳しい分類はできませんが、事務系の試験については多くの市について、実施日程から以下のパターンに分類できます。

一般的に、教養・専門ともに120分、40問の形式ですが、教養試験のみの市役所も多いです。

#### 1) A日程（6月実施）〔6年度は6/16（日）〕

地方公務員〔大卒程度〕試験の全国型と同じ試験日に実施され、それとほぼ同一の問題が出題されます。県庁所在市などの比較的大きな市が該当します。

#### 2) B日程（7月実施）〔6年度は7/14（日）〕

地域的な偏りはなく、全国的に広く見られるタイプです。

#### 3) C日程（9月実施）〔6年度は9/22（日）〕

例年全国的に最も多くの市がこのタイプに属しています。

※上記3タイプの外、10月中旬に一次試験を実施する市役所や、それ以外の独自日程で試験を行う市役所もあります。